

連続講演会

宗教と労働

日本人は働きすぎだ、という批判が高まっています。過労死などの悲劇も起きています。一方で、日本人の勤勉ぶりを改めて賞賛する声も聞こえてきます。働くことは苦役なのか、美德なのか。この問いを宗教の側から、とくに在家者の立場から考えてみましょう。

■ 会場: 中野サンプラザ研修室10 午前10時～11時30分
中野サンプラザ7階(中野区中野4-1-1)

■ 講師スケジュール コーディネーター: 菅原伸郎(在家仏教協会理事長)

日時	講師	演題
4月14日	菅原伸郎 在家仏教協会理事長	宗教と労働ーはじめに 会場8階研修室1
5月26日	加藤みち子 先生 東方学院講師	あらゆる仕事は「道」に通ずー鈴木正三に学ぶ
6月23日	深井智朗 先生 東洋英和女学院副院長	祈りかつ働けー信者は儲かるのか
10月13日	ケネス田中 先生 武蔵野大学教授	はたらく力となる宗教ー宗教社会学者ペラーと近江商人の真宗を中心に
10月27日	田上太秀 先生 駒澤大学名誉教授	生きるとは労働である
1月12日	阿満利麿 先生 明治学院大学名誉教授	「非俗」の実践
1月26日	本多弘之 先生 親鸞仏教センター所長	労働の場と個の確立
2月9日	柴田文啓 先生 開眼寺住職	演題未定
2月23日	末木文美士 先生 東京大学名誉教授	生きること、はたらくことー菩薩行として

■ 会場整理費: 700円(予定) ※ご参加の予約は不要です

■ 協賛

公益財団法人 在家仏教協会

■ お問い合わせ



BUKKYO DENDO KYOKAI
Society for the Promotion of Buddhism

公益社団法人
在家仏教協会

東京都千代田区神田駿河台3-3
03-6684-6692
info@zaikebukkyo.com

お問い合わせ時間
月曜日～金曜日
9:00-17:40